

# 令和5年度第3回大曲地域協議会会議録

令和5年10月27日

大曲地域協議会

# 令和5年度第3回大曲地域協議会会議録目次

|  |   |
|--|---|
| ■開催日時  | 1 |
| ■開催場所  | 1 |
| ■出席委員  | 1 |
| ■欠席委員  | 1 |
| ■出席職員  | 1 |
| ■次第  | 1 |
| ■開会  | 1 |
| ■協議  |   |
| (1) 会議録署名委員の指名                               | 3 |
| (2) 地域課題（自主審議テーマ）の協議について                     | 3 |
| ■報告  |   |
| (1) 「はなび・アムと周辺の取り組み」について                     | 7 |
| (2) 令和5年度地域枠予算の活用状況について                      | 8 |
| ■その他   |   |
| (1) はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケートの実施について | 8 |
| ■閉会  | 8 |
| ■署名  | 9 |

■日 時：令和5年10月27日（金）午後6時

■会 場：大仙市役所3階大会議室

■出席委員：7名

鎌田 俊、後藤 仁美、打川 元喜、佐藤 毅、塚田 兼一、松塚 孝治、  
長屋 奈恵子

■欠席委員：7名

荒屋鋪 栄明、根田 朋子、深谷 成男、佐藤 芳紀、戸嶋 真紀子、  
生田目 マキ子、細井 陽子

■出席職員：6名

|                   |                  |
|-------------------|------------------|
| 山信田 恭弘（地域活動応援課課長） | 高橋 靖弘（地域活動応援課参事） |
| 遠藤 彩希（地域活動応援課主幹）  | 進藤 尚人（地域活動応援課主任） |
| 佐々木 心都（地域活動応援課主事） | 近 孝義（花火産業推進課主事）  |

■次 第：

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

（1）会議録署名委員の指名

（2）地域課題（自主審議テーマ）の協議について

4 報 告

（1）「はなび・アムと周辺の取り組み」について

（2）令和5年度地域枠予算の活用状況について

5 その他

（1）はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケートの実施について

6 閉 会

---

（午後 6時 開会）

○事務局（高橋参事）

本日はお忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今から令和5年度第3回大曲地域協議会を始めさせていただきます。

はじめに、鎌田会長よりごあいさつをお願いします。

### ○鎌田俊会長（以下、会長と表記）

皆さんこんばんは。今日は予定外の少数精鋭の地域協議会になってしまいました。考えてみると、食堂のテーブルは大体4人掛け、座敷に行くとテーブルに座布団は大体4枚ですから、今日は半分しか委員の方が出席してないですけども意外と話しやすい環境ではないかと思えます。前回、自主審議テーマを決めたときにはそれなりの人数がいましたけれども、考えてみたらテーブルの端と端の方では話ができないんですよ。だから話が割れるときもあれば、統一するときもある。これぐらいの人数の方が意外とみんなの意見というのが活発になるのかなと思えます。

今日は、前回決定したテーマそのものを具体的にどうするかというような話になるんですけども、軌道修正等、柔軟性を持って考えていただいて、皆さんが決めたテーマに則っている意見を出し合って協議を活発にしていきたいと思えます。

おでんの美味しい時期です。おでんの具はたくさんあった方が美味しい出汁が出ます。おでんの具のように、今日はたくさんの方の意見を出していただきたいと思えます。

今日はよろしくをお願いします。

### ○事務局(高橋参事)

会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

次第

委員名簿・配席図

資料NO. 1 本日の協議の進め方

資料NO. 2-1 地域課題協議シート（A班）

資料NO. 2-2 地域課題協議シート（B班）

資料No. 3 「はなび・アムと周辺の取り組み」R5事業進捗状況及びR6事業案（当日配布）

資料No. 4 令和5年度地域枠予算活用事業一覧

資料No. 5 はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケートについて（当日配布）

以上でございます。お手元に無い場合はお知らせ下さい。

このあとの進行については、大仙市地域自治区の設置等に関する条例第8条第4項の規定により、鎌田会長をお願いします。

### ○会長

それでは、会議をはじめます。

本日は、荒屋舗栄明委員、根田朋子委員、深谷成男委員、佐藤芳紀委員、戸嶋真紀子委員、生田目マキ子委員、細井陽子委員から欠席の届出がされまして、本日の出席委員は7名となっております。

委員の2分の1以上の方が出席されておりますので、会議は成立していることをご報告い

たします。

次に議題に入ります。

議題の1、会議録署名委員を指名いたします。会議録署名委員は、打川元喜委員と塚田兼一委員をお願いいたします。

続きまして、議題の2「地域課題（自主審議テーマ）の協議について」を議題といたします。事務局から、説明をお願いします。

## ○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

## ○会長

ただ今事務局から説明がありましたが、前回の会議で地域課題（自主審議テーマ）として、A班は、花火以外のブランド商品をつくる～商品のブランド化～、B班は、地域イベントの交流人口を増やす～人口が少ない時代の新たな集まり方～に決定いたしました。

本日は、前回と同じくA班、B班に分かれていただき、それぞれ決定したテーマについて、目標・目的（課題解決の方向性、こんな地域にしたい）、対応策（具体的な取り組み）などを協議していただきたいと思います。

協議の時間は、今から30分位とりたいと思います。協議の方法はワークショップ形式で行います。資料No.2の地域課題協議シート、模造紙、付箋貼付などを使用して協議してください。

最後にグループごとに協議の結果を報告していただきますので、はじめに、どなたか進行役と報告していただける方を決めていただきたいと思います。

それでは、始めてください。よろしくをお願いします。

【グループ協議】

| (A班)  | (B班) |
|-------|------|
| 鎌田俊   | 後藤仁美 |
| 佐藤毅   | 打川元喜 |
| 松塚孝治  | 塚田兼一 |
| 長屋奈恵子 |      |

## ○会長

時間となりましたが、よろしいでしょうか。

それでは、各グループから報告をしていただきます。

はじめにAグループからお願いします。

## ○佐藤毅委員

それではA班ですが、地域の現状課題という部分で、大曲地域でブランド化されたものが無いということで議論させていただきました。

最初にこのテーマについての具体的な対応策についてですが、あんまり難しいものをお考えでも、時間、費用もかかるということがありますので、現状あるもの又は似たものということで考えました。

各市町村には、何かしらメインとなる食べ物がありますが、大曲は少ないです。そこで大曲で何を食べようかとなったとき、わかりやすいものということで、花火に関連した食べ物はどうかという意見がでました。中身は同じだけれども、名前だけ花火に関連させたらどうか。例えば花火ラーメン、花火カレー、花火チャーハンというふうには、商品名に何でも花火をつけたらどうかという意見が出ました。

また、遠くからでもお店がわかりやすいように、各飲食店に統一したのぼり旗を立てたらどうかという意見がでました。

それともう一つは、何をやるにしても、PRが大事ですので、市役所、マスコミなどを巻き込んでPRを徹底的にやったらどうかという意見がでました。例えば、背中に花火カレーなど書いたTシャツを着てまちを歩いてもいいだろうし、そういうふうなものを大々的にやれば、似たようなものでも大曲独自のブランドになるんじゃないかということをお考えしました。

それと大曲はやっぱり1次産業の米文化です。美味しいご飯もありますけれども、日本酒も美味しく作られています。大仙市には日本酒の酒蔵がたくさんありますので、酒蔵ツアーや酒蔵ごとにイベントを大々的にやったらいいんじゃないかという意見がでました。例えば、山形に行くとワイナリーがたくさんありまして、ワイナリー巡りで秋田県民はそこに行ってお金を落とすしてきます。それと逆に山形の人から大仙市に来ていただいて、酒蔵ツアーでお金を落とすしてもらうという考えです。とにかく大曲オリジナルのものを簡単に考えて、PRを大事にしていこうという意見が出たところです。

あと、カレーやチャーハンなどのデザインを小中学生から公募したらどうかという意見も出ました。子供達がデザインしたものは、親やおじいちゃんおばあちゃんが食べに行くと思いますので、その繋がりも大事にしていってらどうかという意見が出ました。

このように身近なところからブランド化していこうという意見が出ました。

以上です。

## ○会長

はい、ありがとうございました。

何か質問、提案等あればお願いいたします。

まだ途中経過ですので、もっと委員の方々が集まればいい提案が出てくるのではないかと思います。

いろんなものを巻き込んで、花火そのものを上げることが大切なんじゃなくて、花火にまつわるブランドを作る方がむしろ大切なのかなと思います。日本三大花火で有名になってるんだしたら、花火という言葉そのものをブランド化すればいいと思いました。

## ○会長

次にBグループをお願いします。

### ○後藤仁美委員

それではB班の報告をいたします。

最初に、各地域で現在あるイベントを掘り出してみました。角間川地域では今度、藤井聡太さんが来てやるイベントがあります。実際にそういうイベントは各地域でポツポツとあるわけなんですけれども、交通手段が無いですとか、あと地元の人に参加しないですとか、イベントをやってる場所自体はいつも同じで、見飽きたりしてしまうのが要因にあったりとかしています。

年に一度の何とか祭り、何とか祭りというのは割と賑わってるんですが、そういう年いちのイベントじゃなくて、日常的に交流できる環境が無いか掘り起こそうと思ったんですけど協議では出てきませんでした。日常的に小さいお子さんから高齢者の方までが交流をして賑わう場所はあんまり見当たらないんじゃないかなという話になりました。

そういう交流できる環境はどうしたら作れるのか話し合ったところ、やっぱり小さいお子さんの発表会ですとか、学校を中心とした方が集まりやすいのかなという意見が出ました。

また、昔のことで私はちょっと知らないですけど、駅前に月岡映画館がありました。映画だったら小さいお子さんから大人の方まで楽しめるので、昔のように駅前に映画を上映できる場所があったらどうだろうという意見がでました。

また、子供と高齢者が一緒にスポーツする場があったら良いのではという意見も出ました。高齢者の方が日中何をやっているのかを考えたときに、グランドゴルフやウォーキング、それから大仙市は野球が盛んなので、小学生のお子さんや50歳野球をやってる方々が一緒に交わったりすることが日常的に作ることができたら、交流が生まれてくるんじゃないかという意見が出ました。

また、消滅してしまったイベントの復活についてですが、歩行者天国とか土屋館などをもし復活させた場合、課題としては告知の難しさがあると思います。若い世代はLINEとかでもやり取りしています。秋田市だと子育て世代はLINEで今日はこういうイベントをやっているよというのが割と毎日のように配信されます。例えば絵本の会がありますとか、なんかそういう感じで、大仙市内の子供が参加できるイベントの情報が、毎日保護者の方に漏れないように行き届くような仕組みが作れば良いと思います。そうすると、こういうイベントがあるから明日行ってみようかなという感じで急遽でも参加できるのではないかと思います。

以上です。

### ○会長

ありがとうございました。

ただいま、Bグループから報告していただきましたが、皆さんからご質問などございましたでしょうか。

### ○佐藤毅委員

子供と高齢者が一緒にスポーツをやるということですが、参加者を大勢集めるのは大変だと思います。というのは、高齢者の方は自分がグラウンドゴルフをやらない場合は参加しないと思います。自分の経験したことが無いものと参加しないのではないのでしょうか。

そこで私たちの地域で去年からやっていますけども、高齢者の方から昔やったいろんなことを教わるという事業をやっていきます。人に教えるという立場になると、こぞって高齢者の方々は参加します。ですから、無理やり上から「これをやりますので集まってください」では高齢者を多分参加しないと思います。高齢者の方々は経験がたくさんあるので若い人にいろいろなことを伝えたいのだと思います。高齢者から教えられる場を作るというのも考えた方がいいのではないのでしょうか。私は、去年何をやったかという、稲刈りのときに昔風の稲刈りをしたあと杭を立てて天日干しをする作業を高齢者の方に教えていただきました。そうしたら、高齢者の方々がたくさん集まりました。このような高齢者の方々の特徴を捉えた形でイベント等を企画した方がいいのではないのでしょうか。

あと世代間交流のスポーツ大会では、ルールを簡単にしたソフトボール大会もやりました。小学生から80歳まで大勢の方々が参加しました。ソフトボールのあとは、秋祭りということでもなべっこをやって懇親会を開催しました。スポーツもあまりルールを作らないで簡単にしてやった方が参加者は集まりやすいのかなと思っています。

#### ○長屋奈恵子委員

高齢者の方々と一緒に行く料理教室もいいと思います。一緒に寒天作りや味噌作りとかでいろいろ伝えていただくものがあると思います。

#### ○佐藤毅委員

高齢者の方々が自分の経験などから、様々な分野の先生になってくれることを活かした方がいいと思います。

このことはA班の課題解決にも繋がることだと思います。

#### ○後藤仁美委員

映画館に関するのですが、実際に来月、私の店で映画の上映会があります。市民の方が駅前で映画を使って賑わいを戻すことが出来ないかということで企画したイベントです。

このように、市民の方がやろうとしていることと、地域協議会で話し合われて市がやろうとしていることが同じ場合はどのようになるのでしょうか。

#### ○山信田課長

いまプラスカフェさんでやろうとしている上映会は、彩色千輪プロジェクトの事業エリア内なので、進め方によっては連携した取り組みということで何らかの支援が出来るのではないかと思います。

#### ○後藤仁美委員

映画上映に関する取り組みは定期的に行っていきたいと思っていますのでよろしくお願

します。

#### ○会長

以上で、議題2の「地域課題（自主審議テーマ）の協議について」を終了します。

続きまして、報告1「はなび・アムと周辺の取り組み」について事務局から説明をお願いします。

#### ○事務局(高橋参事)

【資料に基づき説明】

#### ○会長

ただいま事務局より、はなび・アムと周辺の取り組みに関する令和5年度の進捗状況と、令和6年度以降の取り組み（案）について説明がありました。

皆さんから、事業の進め方や、取組に関する提案などご意見はございませんでしょうか。

#### ○松塚孝治委員

予算をもっとつけた方がいいと思う。予算があればもっと積極的な取り組みができるのではないか。

#### ○山信田課長

少ない予算ですが、まずは出来ることから、できる範囲で、できる規模でまずはやってみることが大切だと思っております。まずはこの金額で予算要求をしたいと考えております。

また、はなび・アムの事業でゼロ予算事業もありますけれども、ここは職員の方で対応できる内容でということで、これも出来ることからやってみて、事業の進捗を見ながら今後見直しを加えていきたいと考えております。

#### ○佐藤毅委員

大曲は、「音」と「光」と「水」のまちである。私もはなび・アムに4・5回行ったんですけども、丸子川を4階から見るといつも大きい鯉が泳いでるんです。あれはすごく見栄えがいいので、色のついた鯉も放流したほうがきれいな水のまちというイメージが上がるんじゃないかと思います。

#### ○会長

丸子川は河川沿いを20、30年以上前に公園のように整備をしています。その名残が今も残ってるんですけども、何にも手をかけていないために荒廃しています。以前は、川にしっかりした遊歩道的なものがあって親子が歩ける環境ができていました。そして子供が遊べるような公園になっていました。川の整備について、何とかならないものでしょうか。もう少しきれいにした方がみんな楽しめる川になるのではないのでしょうか。

○山信田課長

河川ですので、管理する県などに要望することは可能だと思います。  
地域協議会でのご意見ということで、関係部署と協議したいと思います。

○会長

次に、報告2「令和5年度地域枠予算の活用状況」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局(遠藤主幹)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま事務局より、地域枠予算の活用状況について説明がありましたが、何かございませんか。

なければ、以上で次第4の報告を終了します。

本日の議題等については以上であります。

続きまして、次第の5番の「その他」にうつります。(1)はなび・アム敷地内におけるサービス向上の取り組みに関するアンケートの実施について説明をお願いいたします。

○近孝義(花火産業推進課主事)

【資料に基づき説明】

○会長

ただいま説明がありましたが、皆様から何かございませんか。

無ければ、他に事務局からお願いします。

○事務局(高橋参事)

事務局からですけれども、次回第4回目の地域協議会につきましては2月ごろを開催予定としております。内容につきましては、この後会長さんをご相談しながら検討してまいりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○会長

皆さんから他に何か質問等がなければ、これをもちまして本日の会議を閉じさせていただきます。長時間にわたりご苦勞様でした。

(午後 7時45分 閉会)

---

大曲地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

---

---